

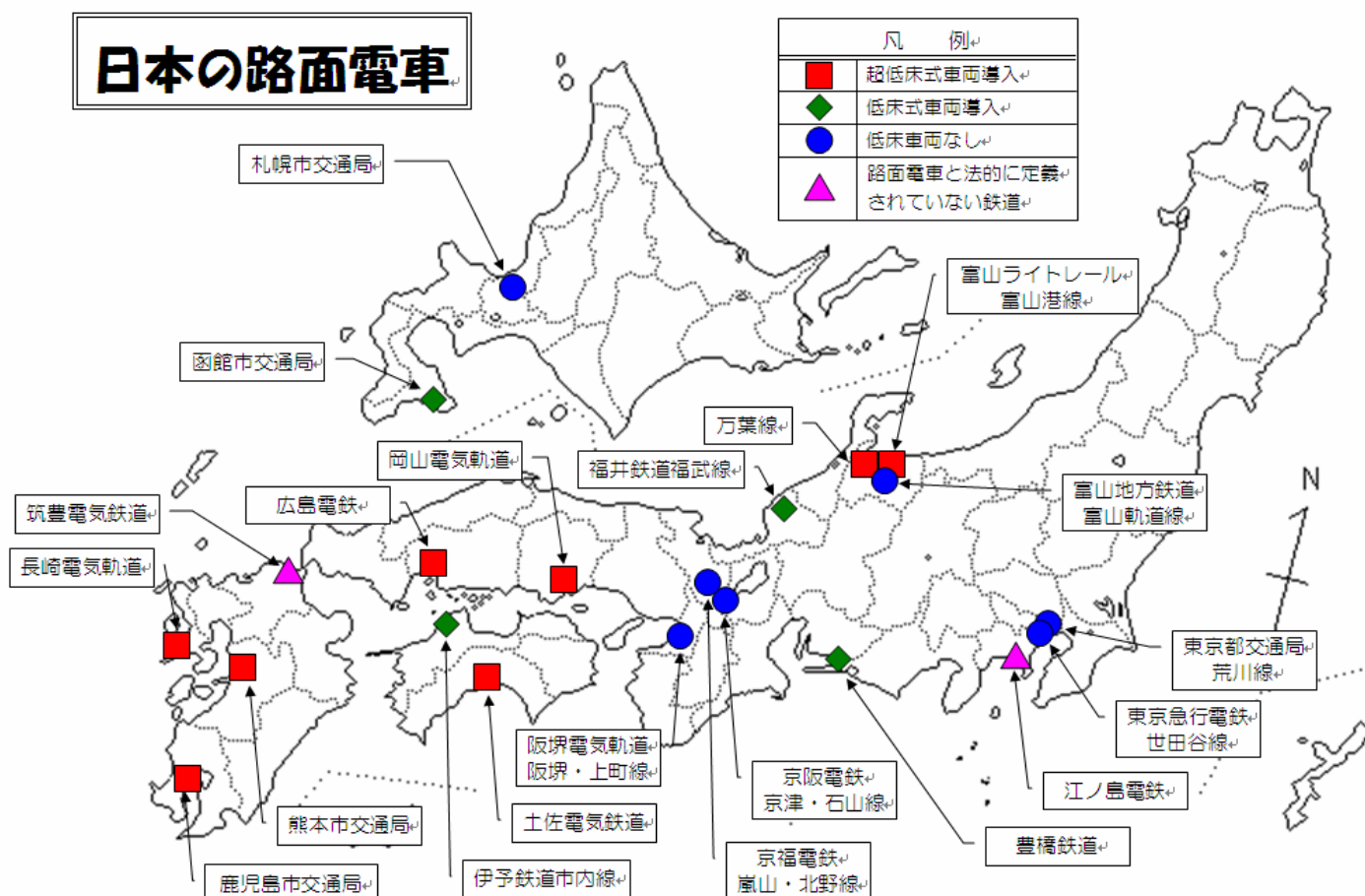
特集 古くて新しい交通システム ～路面電車～

皆さんは路面電車と聞くと何を想像しますか？ かなり昔は、「チンチン電車」として日本中の数多くの都市で走っていました。愛知県では、名古屋、一宮、岡崎で過去走っており、豊橋では現在も市内線が営業しています。また、明治村では1895年（明治28年）に日本で最初に開業した京都市電の車両（明治43年頃の製造）が今も現役で活躍しています。

路面電車というところのように過去の遺物のような感じがしますが、近年、ドイツ・フランスを始めとした欧米ではライトレール（道路上を電車が走行する、誰でも容易に利用できる交通システムと定義されている）として、まちづくりのための交通システムとして復活しました。平成18年4月29日には、富山市で全国初の本格的ライトレールが導入され、沿線のまちづくりと一体となった整備が注目されています。



富山：ポートラム



この10年で日本や世界の各地で超低床型の新型車両が導入されています。これらの車両は床面が路面から30cm程度に設計されているため、高齢者などの乗降がとても楽になっています。



ボルドー（フランス）



鹿児島



ストラスブール（フランス）